

令和7年度 立川市立新生小学校の教育

令和7年4月 校長 千葉 貴樹



新生小学校の教育目標（目指す子ども像）

◎自ら学びを創る子ども【自立】（重点） ○温かい人間関係を創る子ども【共生】 ○たくましい気力、体力をつくる子ども【元気】

※下線は昨年度からの主な変更点

一見つめ 気づき かかわって つなげる— 新生小学校の学校経営の推進

※◆印の短期的な目標と具体的な方策に関するアンケート等で、肯定的な回答を8割以上を目指す。

*印の短期目標及び「具体的な方策」を自己申告に位置付ける。（詳細は別紙参照）

目指す学校像	長期的な目標	短期的な目標	具体的方策
子ども、保護者、地域 そして教職員にとって 夢と希望と笑顔があふれる 新生小学校 —今日が楽しく 明日が待ち遠しい学校— —ネットワーク型学校経営の推進—	確かな学力の向上 自ら学びを創る子ども 【課題解決力・社会参画力の向上】	◆課題解決力の向上を図る。【*】 ・課題意識をもち問題を発見する力 ・根拠を明確して、考え・表現する力 ・比較・関連付ける力（重点） ・学んだことをまとめ次につなげる力 【授業改善の推進】 ◆社会参画力の向上を図る。【*】 ・自分たちや地域に思いや願いをもつ力 ・自発的主体的に自治的に行動する力 【立川市民科の推進】	○個別最適な学びと協働的な学びを一体とした学習展開の工夫 —子どもたちに委ねる学び・授業の創造— ・課題解決型の授業の充実 ・グループ・ペア学習（共有）の重視 ・課題意識（問い合わせや願い）をもたせるための導入の工夫 ・既習事項を活用する場面の設定 ・比較関連させる場の設定 ・根拠を明確にして考える場の設定 ・図表グラフ等の資料の活用 ・基本的な学習の流れの徹底 「課題把握—自力解決—学び合い（共有）—まとめ（振り返り）」 ○自らの学びを振り返り、次の学び・行動につなげる学習の重視 ・授業のまとめの時間の工夫 ・自己評価の重視 ○地域に根ざした立川市民科の単元開発の推進
		◆自己有用感を高める力の向上を図る。 【*】	○自己有用感を高める言葉かけの重視 ○自分たちのよさを自覚し發揮し認め合える場の設定 ○自分自身を振り返り次につなげていく取組の重視【再掲】
	ゆたかな心の向上 温かい人間関係を創る子ども 【ゆたかな心の向上】	◆「ゆたかな心」の向上を図る。【*】 (ほめる・励ます・声をかけ相談する・協力する・謝る・感謝する・見守る・許す)	○学級の状況に即した「ゆたかな心」の向上の取組の充実 ○一人一人の子どもを大切にする特別支援教育の推進 ・必要とする支援 ・組織的な対応 ・関係機関との連携 ○ユニバーサルデザインを意識した環境整備
		◇自分の状況に応じて、進んで運動し、体力を高め、健康で安全な生活を送ることができる能力を育成する。	○学校2020レガシーの推進 ○芝生を活用した運動の充実 ○体育の授業改善の推進 ・体力テストの活用 ・めあて学習の重視 ・運動する楽しさの体得 ○基本的生活習慣や食習慣の改善・充実
	の健の健康 康向な上 の体	◇教職員自らの能力を磨くとともに、課題解決を目指し チーム新生小として、 一体となって推進する 組織体制を整備・強化する。【*】	○4つの力を意識した校内ICT体制の整備（既存の会議等の活用） ○学校経営計画と連動した自己申告と校内研究の実施 ○学校評価に基づいた教育活動の改善・充実 ○目的・方針に即した提案型の学校経営の推進 ・経営会議を要とし、分掌ごとのねらいを意識した各分掌経営 ・職層と経験に応じた、役割と職責の確実な実施 ○教職員一人一人のセンス・発想力・創造力の発揮 ○危機管理意識の高揚と経営課題の組織的対応 (いじめ・不登校・配慮や支援が必要な児童・アレルギー・防災・防犯・施設・事故等)
	学校経営の改善・充実 【課題解決指向型の組織的な学校経営の推進】	◆「共育」の拠点となる、 地域に根ざした学校づくりを推進する。【*】 【地域との協働体制の強化】 ◆保護者・地域と双方向の関係を重視し、 信頼される学校づくりを推進する。【*】 【地域との双方向の関係の充実】	○地域に根ざした立川市民科の単元開発の推進【再掲】 ○学校・家庭・地域が連携・協働した取組の充実 ○ICTを活用した教育活動の広報の充実 ・学校だよりの充実 ・公開授業の充実 ・ホームページの充実 ○相手の思い・願いや立場を踏まえて親身になった対応 ○根拠を明確にして説明責任を意識した対応
	地域と共に歩む学校づくり		○公務員としての 厳正な服務・服装・振る舞い・言動の意識 ○個性・ちみ味を生かした業務推進 ○コンプライとSDGsを関連させた 環境保全・整備と服務規律の向上 (省エネ・机上等整理 期限・時間厳守等)